

アフリカ等のフードバリューチェーン課題解決型 市場開拓事業[新規]

【36(0)百万円】

対策のポイント

アフリカ等における事業展開に向けた課題を解決するため、日本企業と現地企業等が協働して行う実証・評価等の活動を支援します。

<背景/課題>

- ・開発協力大綱（平成27年2月）やアフリカ開発会議（TICADVI、平成28年8月）のナイロビ宣言等において、開発途上国の農林水産業・食産業の発展に貢献する、生産から消費に至るフードバリューチェーン（FVC）構築の重要性が指摘されています。
- ・アフリカ等においては、日本企業の進出によるFVC構築を図るに当たって、商習慣、法制度、消費者の嗜好等の必要な情報収集が困難なことや、人的ネットワークの不足などが大きな課題となっています。

政策目標

事業完了後3年以内に、支援した案件のうち3件以上が事業の取組を開始（アフリカ等での事業の取組開始3件以上（平成35年度））

<主な内容>

日本企業と現地企業等の協働実証・評価事業

36(0)百万円

アフリカ等の農業・水産業の抱える課題解決に資する製品・サービス等の実証等を通じ、効果を現地関係者と検証するとともに、市場開拓に向けた事業計画（ターゲット顧客、価格、販路、プロモーション等）の作成を支援します。

（補助率：定額
事業実施主体：民間団体）

（お問い合わせ先：
大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-8058））

アフリカ等のフードバリューチェーン課題解決型市場開拓事業【新規】

事業概要・目的

- 開発協力大綱やアフリカ開発会議（TICADVI）において、生産から加工、流通、消費に至るフードバリューチェーン（FVC）構築の重要性を指摘。
- アフリカ等においては、日本企業の進出によるFVC構築を図るに当たって、商習慣、消費者の嗜好等の情報や人的ネットワークの不足が障害。
- アフリカ等におけるFVC構築を円滑に進めるため、現地の商習慣等を熟知し、現地関係者とのネットワークを有する現地日本人起業家等と市場参入に関心を持つ日本の食関連企業が協働して行う実証・評価等の活動を支援する。

事業イメージ・具体例

現地日本人起業家

マンゴー等を原料としたドライフルーツの製造・販売をしているが、品質や収量が安定しない。



糖度計等製造メーカー

開発途上国への市場参入に関心があるが、参入検討に必要な情報や人的ネットワークが不足。



ハンディ土壤診断計・糖度計

協働

- ・品質向上に伴う農業者の収入の増加
- ・品質管理の高度化に伴う先進国市場への輸出等の販路拡大



- ・実現性の高い事業計画
- ・現地ユーザーの意見を踏まえた製品等の開発
- ・現地パートナーとのネットワーク構築

資金の流れ



期待される効果

- アフリカ等におけるFVC構築による農林水産業・食関連産業の発展。
- 日本の食関連企業の海外進出促進。